



バス関東  
申6号

パワーハラスメントを撲滅し、安全で安心して働くことのできる職場環境を求める申し入れ 第2回団体交渉 1/27開催

## 会社がA課長のハラスメントを認める！

1月27日、JR東労組バス関東本部は団体交渉を行い、成田空港支店における、A課長による組合員へのハラスメント行為について議論し、具体的な内容を指摘しました。会社はA課長のハラスメント行為を認め、再発防止と組合員が職場復帰できる環境を目指すことなどを確認しました！

### 主な組合の主張

一昨年(2024年)の11月に課長が配属されてから職場風紀が乱れている。えこひいき、人格否定、差別発言。「この支店にはバカしか居ない」「空港線しかやってないのにバスをボコボコぶつけやがって」「あのやろう」「このやろう」「パソコンもろくに使えないボンコツ」他の社員がバスをぶつけてきたときに「あいつ何回目だ」「ぶつつぶしてやる」一課長の行為によって4ヶ月会社に来られない。課長は管理者としてふさわしくないのではないか。このような思いをする人がでないように、管理者の人事など、組合員が安心して働ける環境になるように整備してほしい。

・また、不公平な点呼業務・交番運用などの不当行為について指摘する



### 特徴的な会社回答

- ・事実として強い発言があった。発言内容が悪いのは事実。否定するものではない
- ・厳正な処分を行っていく **確認！**
- ・組合員を尊重して戻す準備は出来ている **確認！**
- ・(交番作成の不公平な勤務について)確認する
- ・今件についてはしっかり対処する
- ・支店の雰囲気により辞める人も出てきてしまう。テコ入れしないといけない支店
- ・コンプライアンスはパワハラだけではない。しっかりした教育訓練・研修を行っていく
- ・回送バスの問題は公機の私物化。世の中のコンプライアンスは重い **確認！**
- ・会社として二度と起こさせないことを目指す。撲滅させていきたい **確認！**

**JR東労組は組合員に寄り添い、安心して職場復帰し、安全で安心して働ける環境をめざします！**